

1. 技術者倫理としての問題点

■秘密保持

■文化差異

- ①他国の人も技術者倫理を求める。
- ②現地技術者Dに対して技術者Aが技術者倫理の教育がすべきだった。
- ③なぜ現地技術者を採用したのか。その採用基準は？
- ④情報漏洩の基準は明確だったのか？
- ⑤先進国から新興国へ技術を持っていく時点で盗まれるのは大前提。
その辺のリスクについては最初から織り込まないといけない。
- ⑥最初の段階でのリスク抽出が不十分だったのでは？
- ⑦知的財産権、著作権の保護が甘い。
- ⑧秘密保持に関する教育が甘い
- ⑨日本では当たり前の倫理観がC国(外国)では当たり前ではない
- ⑩国際貢献、国際協力にはいろんな形態はあるが、業務提携を行う上で相手国の文化や歴史、宗教等を理解したうえでのそれらを加味した契約が不可欠ではないか
- ⑪「国際貢献を意識して、適切に教育し、…」とあるので技術者倫理等の教育は行った可能性もあるが、それが伝わっていないのであるとすると、自らの教育研鑽等が不十分であった可能性があるのでは？
- ⑫「技術者Dは欠かせないに存在になっていた」ということから、その人事配置にも配慮不足があったのではないか？
- ⑬Dとの信頼関係の構築にも甘さがあったのでは？
- ⑭もしかしたらDはリーダーというポジションにあったが不満にあったのかも。
- ⑮コミュニケーション不足(意見の吸い上げ)が原因？
- ⑯真似る盗むというのは、過去には日本もしていたのでは？ 知的財産権や著作権という考え方も欧米から押し付けられたスタンダードかも

2. 海外業務における考慮事項

①他国の理解

理由：まず相手の文化・歴史・教育等を理解することが必要である。『己を知り敵を知る』

②倫理教育の実施

理由：相手との共通ルールを作ることが、良好な関係を構築できる。

③コミュニケーションの構築

理由：意思疎通によるチームワークの形成が必要である。

④リスクの管理

理由：秘密保持及び情報漏洩の防止が可能なシステム構築が必要である。



まとめ



契約書による明文化

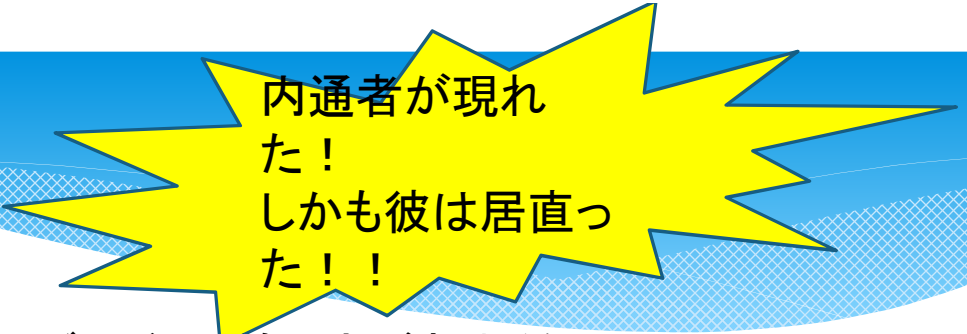


グループディスカッション Bグループ

メンバー : 亀田 窪田 阪田 大丸 田中 長原 山野 (50音順)
司会: 山野
書記: 窪田(発表)

概要: 海外へ工場を建設したB社。技術者Aは現地の責任者として赴任した。
現地工場は順調に稼働するが数年後、工場に内通者が現れ工場の
業績は悪化。現地工場売却に至った。

1. 問題点についてディスカッション



内通者が現れた！
しかも彼は居直った！！

・国際業務

2種類の仕事(技術提供/技術流出のガード)の線引きがあまくなった。

日本とC国の意識の違い。技術을もらって当たり前の態度。

賄賂で情報の流出。

日本でも内通者のような人間が増えた。

国家事業なのか、一企業の事業なのか。どこまでリスクを負うのか。

文化差異についてどれだけ事前に詰められるか。

年数がたって日本の技術供与が相手国によく思われなくなった。

日本の倫理が正なのか。海外の倫理が正なのか。

技術者Aが経営まで任されていたら勉強不足では。

周辺のライバル企業にも日本の倫理教育を。

・秘密保持

モラル教育が不足。技術供与しすぎ。

技術流出時の契約ができていない。

日本の倫理が受け入れられるか事前に見極めを。結果で提供技術を選択。

・信頼関係

日本人の思う信頼と相手国の思う信頼。

最初にどう付き合うか考えることが大切。

2. 業務を遂行する上で考慮しなければならないこと

- 準備

他国と日本の倫理差→互いに歩み寄る→契約内容を考える→相互に教育

モラル

教育

- 運用

（国の情勢を踏まえ国際貢献を考慮した契約（特許・誓約書etc）

契約

- ビジョン

技術を持つ日本が海外でどう振る舞うべきか明確なビジョンをもつ

（B社がC国での技術発展に貢献できるビジョン。WinWin）

ビジョン



111105 修習セミナーアンケート結果

●今回の修習セミナーについて

Q1-1. 講師の話し方や進め方は、いかがでしたか？選択項目に○印を1つ付けてください。(以下同様)

- | | | | |
|-------|----|---------|----|
| (a)満足 | 5名 | (b)ほぼ満足 | 1名 |
| (c)普通 | 0名 | (d)やや不満 | 0名 |
| (e)不満 | 0名 | | |

Q1-2. 講師の用意した資料(配布資料、プレゼン資料)の内容は、いかがでしたか？

- | | | | |
|-------|----|---------|----|
| (a)満足 | 5名 | (b)ほぼ満足 | 1名 |
| (c)普通 | 0名 | (d)やや不満 | 0名 |
| (e)不満 | 0名 | | |

Q1-3. 講師にお伝えしたいこと(コメントなど)がありましたら、お書きください。

- ・声を大きく喋って欲しい。
- ・講演時間は適切でした。

Q2-1. スタッフの対応(受付、会場の準備、当日の進行など)は、いかがでしたか？

- | | | | |
|-------|----|---------|----|
| (a)満足 | 5名 | (b)ほぼ満足 | 0名 |
| (c)普通 | 1名 | (d)やや不満 | 0名 |
| (e)不満 | 0名 | | |

Q2-2. スタッフにお伝えしたいこと(コメントなど)がありましたら、お書きください。

—

Q3. 今回のセミナーは、全体としていかがでしたか？

- | | | | |
|-------|----|---------|----|
| (a)満足 | 5名 | (b)ほぼ満足 | 1名 |
| (c)普通 | 0名 | (d)やや不満 | 0名 |
| (e)不満 | 0名 | | |

●今回のセミナーに参加するまでの経緯について

Q4. 今回のセミナーをどのように知りましたか？

- | | |
|--------------|----|
| (a)ホームページ | 0名 |
| (b)技術士会発行の雑誌 | 0名 |
| (c)会員向けメール | 4名 |
| (d)その他 | 2名 |

Q5. 今回のセミナーに参加した目的は何ですか？いくつかでもお選びください。

- | | |
|---------------------------------------|----|
| (a) テーマや内容について興味があった、知りたかった、身につけたかった。 | 4名 |
| (b) 参加者と知り合いになりたかった(人脈を広げたかった)。 | 2名 |
| (c) 修習技術者支援委員会という組織や活動について知りたかった。 | 0名 |
| (d) CPD, IPD のポイントを取得したかった。 | 1名 |
| (e) 上記以外 | 3名 |
| ・口頭試験のことについて情報収集したかった。 | |
| ・技術士について色々聞くことができると思ったから。 | |
| ・倫理に対する議論を普段する機会がないため、良い機会であると思った。 | |

Q6. 修習セミナーに参加するのは何回目ですか？選択項目に○印を付けてください。

- | | | | |
|----------|----|------------|----|
| (a)初めて | 1名 | (b)2回目 | 2名 |
| (c)3回目以上 | 3名 | (d)はっきりしない | 0名 |

Q6-1. 今回が2回目以上の方にお伺いします。過去に参加した修習セミナーで、印象深かったテーマや面白かったテーマがございましたら、お書きください。

例：合格者体験談、合格祝賀会講演、修習技術者発表、倫理問題等のワークショップ・ディスカッション

合格者体験談 2名

修習技術者発表 2名

SUKIYAKI 塾講師(鳥居氏)の講話

技術者倫理

出席したものが全て勉強になっていて選べません。

●あなたご自身について

Q7-1. 年齢層をお選びください。

- | | | | |
|-----------|----|-----------|----|
| (a)30歳未満 | 1名 | (b)30～34歳 | 1名 |
| (c)35～39歳 | 2名 | (d)40～44歳 | 1名 |
| (e)45～49歳 | 0名 | (d)50歳以上 | 1名 |

Q7-2. 技術士の資格制度での位置づけについて、該当する項目をお選びください。

- | | | | |
|----------|----|---------|----|
| (a)技術士 | 0名 | (b)技術士補 | 3名 |
| (c)修習技術者 | 2名 | (d)学生 | 1名 |
| (e)その他 | 0名 | | |

以上